



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

報告

今月号では9～11月に行った3つの研修会等を紹介します！

管内生涯学習・社会教育関係職員研修講座

～9月29日（火）むつ合同庁舎～

講義：「これからの地域づくりに求められること～持続可能な地域社会を創るためには～」

講師：いちのせき市民活動センター
センター長 小野寺 浩樹 氏



【講師から】

○一言にまちづくりと言っても、地域おこしと地域づくりでは意味が異なる。地域の活性化のためには、どちらも大切な取組である。

まちづくり	
地域おこし（まちおこし）	地域づくり
特 あるテーマに沿った何かを創り出す役割で、サービス提供は、地域外の人向けが多い傾向。 ・イベント ・商品開発 ・移住 等	特 そもそもの生活の場の仕組みを創り出す役割で、サービス提供は、地域に住む人向け。 ・コミュニティ ・生活福祉 ・安心安全 等
徴 注目されやすいためマスコミ受けがよい	徴 地道な取組が多く、注目されにくい
対症療法	原因療法

○地域が活性化された姿とは？

・人がつながり、協体制が構築されていること！

○成功事例に共通する成果

- ・人に声をかけやすくなった。
- ・声をかけると人が出てきてくれるようになった。
- ・みんなで何かをやろうという雰囲気が出てきた。



【参加者の声】

- ・「社会教育は人づくり」と先輩方に教わったことを思い出しました。求められる事業に地域づくりの仕組みを取り込みたいと思います。実施してみたい事業のイメージが湧いてきました。
- ・地域おこしと地域づくりの相違から、成功事例とされる成果など、改めて基本的な考えを振り返ることができました。

放課後子ども総合プラン指導員等研修会（後期）

～10月14日（水）むつ市中央公民館～

講義：「愛着障害の理解と対応」

講師：八戸市子ども支援センター
臨床心理士 高橋 育子 氏



【講師から】

○愛着障害の原因

- ・放置されるか、養護する大人から基礎的な快感、刺激、愛情表現に対するニーズを満たしてもらえなかった。
- ・虐待（肉体的、精神的、性的、子どもに害のある環境）
- ・主要な保護者（達）が何度も変わったために、安定した愛着関係を築く機会が限られた。
- ・特定の人と愛着関係を結べる機会が限定されていた異常な環境で育てられた（子どもの数に対して保育者の数が少ない施設環境など）

○望まれる保護者の行動

- ・安心・安全を与える行動
アイコンタクト、表情、タッチ、密着
- ・波長を合わせる（情動調律）
赤ちゃんのニーズに即座に応える
赤ちゃんの微笑みに微笑みで応答する
赤ちゃんの表情や出す声をまねる



○愛着を結ぶために

- ・成長過程で一人でも大人が無条件で受け入れてくれて、自分を本当にわかってくれる人がいると、子どもは非行に走らず自分の能力を発揮できる。（ノースウエスタン大学の研究）
- ・生母、父、祖父母、保育士、教師、支援者等、愛着を結ぶことは「誰でも担える」、愛着は「いつでも修復可能」



【参加者の声】

- ・仕事だけでなく、生きていく中で必要な内容でした。
- ・愛着障害はなかなか学ぶ機会がないので、専門的な内容を専門の講師から学べたことは大変よかったです。

スポーツ推進委員むつ下北地区研修会

～11月7日（土）むつ市中央公民館～

講義・実技演習

「楽しく&真剣 選手を輝かせるスポーツコーチング」

講師：NPO法人RYOMA塾

代表理事 津村 柁広 氏



【講師から】

○コーチングは相手の話を聞くこと、話を引き出すこと

- ・笑顔は笑顔のトビラを開く。コミュニケーションの基本は表情筋を使うこと。

笑顔

リアクション、あいでの



うなずき：はあ～、ひえ～、ふん、へえ～、ほお～

ひらみ ○123コーチング

- 1 「今の自分を色で例えるなら何色ですか？」(今の自分を知る)
- 2 「1年後はどんな色になっていたいですか？」(未来の自分を想像する)
- 3 「今の色から1年後の色になるためには何をしたらいいですか？」(アクションプランを立て、チャレンジする)

子どもたちがこの3ステップコーチングを習慣にすると、本来備わっている力が目覚めます。それは、「現状を俯瞰して見る力」「自らの意思で目標を設定する力」「小さな一歩を踏み出す力」「他人のチャレンジを応援する力」の4つです。この力が自律心を育てます。

【参加者の声】

- ・「いいね」のシャワーは恥ずかしい感じもりましたが、つつい笑顔になった。のびのびさせる、いい気持ちにさせることが大切だと思った。

